

日田警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和7年2月27日（木）

第2 出席者

協議会 委員 7名

警察署 署長、副署長、総務課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、
地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 10名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・ 諮問事項に係る取組状況等
- ・ 警察署の運営重点推進状況

について説明がなされた。

2 諮問事項に対する答申

警察署協議会から、諮問事項「若手警察職員の早期育成と女性警察職員の活躍推進」に関し、以下の答申がなされた。

- (1) 若手警察職員の早期育成
地域住民との交流促進、幹部職員による指導・育成
- (2) 女性警察職員の活躍推進
職員の意識改革、警察署等施設の整備

3 運営重点推進状況に関する意見

- (1) 委員から「特殊詐欺と思われる不審な電話があった場合、高齢者が被害に遭わないためのシンプルな対策がないか」旨の質問がなされ、警察署から「特殊詐欺の最初の連絡手段は電話であるため、自動警告録音装置の購入を検討することや、相手方からお金の話が出たら詐欺だと考え、家族、知人等に相談するといった広報啓発活動を継続している」旨の回答がなされた。
- (2) 委員から「DV、ストーカーや高齢者虐待の認知件数について、年によってばらつきがあるのはなぜか」旨の質問がなされ、警察署から「全国的にDV等に関する事件報道がなされた場合に届出が増加することも考えられるが、高齢者虐待は市民の関心が高まったこともあり、少しでも疑いがあれば警察や関係機関への通報につながっているものと思われる」旨の回答がなされた。
- (3) 委員から「重要窃盗と窃盗はどのように区別しているのか」旨の質問がなされ、警察署から「重要窃盗は、家屋や店舗等に侵入して窃盗を行う手口であり、家人に発見された場合は、強盗等に発展する可能性もあるため、認知件数等を区別している」旨の回答がなされた。
- (4) 委員から「横断歩道、信号機の設置はどのように決定しているのか。また、一灯式の信号機の撤去をすすめているのか」旨の質問がなされ、警察署から「横断歩道等の設置については、現地で交通量、交通事故の発生状況等を調査し必要性の有無を判断して設置している。一灯式の信号機は撤去の上、一時停止標識等の設置による安全対策を進める方針となっている」旨の回答がなされた。
- (5) 委員から「道路の白線を維持管理するのは、警察か道路管理者のどちらか」旨の質問がなされ、警察署から「原則、道路管理者であるが、停止線や横断歩道等は警察が維持管理している」旨の回答がなされた。